

2024年2月10日（土）10時から12時5分終了予定。長野大学リブホール（9号館3階）にて開催

開会			
10:00	①開会の挨拶	小林淳一学長先生より、開会の挨拶	
10:05	②来賓紹介	上田市市長 土屋陽一様 ご紹介	
10:06	③趣旨説明	高橋一秋 地域づくり総合センター副センター長より、趣旨説明	
第1部「信州上田学」事業：上田市との協働事業			
木育教室「地域材でつくろう」		発表者（予定）	発表概要
10:10～ (15分)		高橋一秋 教授 (環境ツーリズム学部)	現在の小学校の教育課程で「林業」に関する学びや「木育」が十分に行われているとは言えない状況となっています。 この課題を解決に導く一つの方法を社会に発信することが本事業の目的です。 地域材（スギ・ヒノキ・カラマツ）から木育教材「地域材でつくろう」を開発・制作しました。 制作した木育教材を活用して、塩田西小学校で、木育教室（全3回）を実施し、林業とは何かをわかりやすく学びました。 児童たちの自由な発想により木材で工作を行い、地域材に親しむ機会としました。
『てくてくうえだ』信州上田学特別号2発行			
10:25～ (15分)	鈴木誠 教授 (企業情報学部)	渡辺 啓太、松本 啓吾 岡田 瑠夏、越川 大夢 近藤 千織、高橋 美桜 田口 来渡 (いずれも企業情報学部3年)	2019年から上田にある企業の経営者やそこで働く労働者に着目したプロジェクト研究を展開しています。 その一環として、ゼミ生たちが企業情報学生の視点から上田市のタウン誌を作成する「タウン誌作成プロジェクト」に取り組んでいます。 今年度は、昨年度に続き信州上田学特別号第2弾を制作しました。 (上田市に関わるマップや、7つのグループに分かれて「上田をつくる人」という特集を組みました) 学生が地域の方へインタビューを通して得た知見を自らの職業観養成につなげ、上田地域の経済の活性化を促すと同時に、町おこしや地域の課題発見・問題解決を目指します。
『若者たちへの伝言2023』作成太平洋戦時下の日常の聴き取り疎開調査			
10:40～ (15分)	山浦和彦 副学長	岡田 輝 (社会福祉学部4年)	太平洋戦争を生きた人々（当時、上田地域在住、または疎開した方々）から日常生活の体験エピソードを学生たちが聴き取り、記録集を作成しました。 記録集は3部構成で、第1部は学生たちによる戦争体験者への聞き取り調査、第2部で上田市内に残る戦跡調査、第3部として研究調査の振り返りをまとめました。 聴き取り・調査、また作成した記録集を活用して、戦争体験を風化させないために、次世代を担う小中学校・高校生などに語り継ぐ研究活動を進めています。
産官学連携講座			
10:55～ (15分)	古田睦美 教授 (環境ツーリズム学部)	山本 利彩、中澤 いつき (環境ツーリズム学部2年) 福島 隼人、平山 小那美 (環境ツーリズム学部3年)	ワークショップ形式で、クラウドファンディングの手法活用して、学生たちが地域の魅力を伝える・地域の資源を活用した商品や観光商品の商品開発に取り組みました。 産官学連携講座として、全5回の講座を実施しました。大学・学生と、地域の企業、市民がともに参加できる講演会・講座・ワークショップを実施し、そこで課題やニーズを抽出したうえで、学生の発想を活かしたプランを提案しました。 第1回は、クラウドファンディングの第1人者である板越ジョージ氏を迎えての講演会、2回から4回はワークショップ、最終回の第5回にプラン発表会を行いました。
上田のものづくりを支える次世代のソフトウェアエンジニアの育成			
11:10～ (15分)	田中法博 教授 (企業情報学部)	若命 駿策、内山 拓巳 (企業情報学部3年)	本事業では、3Dスキャンという高度な技術を持つ（株）原製作所と共同で、地域の特色を活かした新産業創出に貢献できるIT技術者育成を目指します。 特に、優秀なIT技術者の卵である若者に継続的に地域の新産業創出を担ってもらうための仕組みづくりをすることが目的です。 今回は、原製作所とともに長野大学の学生が上田市役所の新庁舎を3Dスキャンし、それをコンテンツ化することで新しいWebアプリを開発した成果を報告します。このことで、地元企業の持つリソースを活かすことができる次世代のITエンジニアの活躍場所を創出できることを示します。

休憩11:25～11:30			
第2部 講義「信州上田学」：長野大学独自事業			
後期開講「信州上田学」		発表者（予定）	発表概要
11:30～ (10分)	前川道博 教授 (企業情報学部)	古賀 寛也、佐藤 杏一 (環境ツーリズム学部1年) 村上 柚葉 (社会福祉学部1年)	長野大学では2019年度以来、継続的・発展的に地域学科目「信州上田学」に取り組んでいます。今年度は3学部の教員がそれぞれ地域探求の視点を提供し、地元上田を学びのフィールドとする横断的な知識の形成、実践力を培う学びを支援しました。学生約100名の地域キュレーション学習成果は「みんなで作る信州上田デジタルマップ」に一元化しネット公開しました。当日は、信州上田で学び始めた学生に上田から学んで得た事や地域「上田」の面白さを披露してもらいます。
信州上田学 発展科目「地域協働活動B」塩田平・日本遺産活用企画			
11:40～ (10分)	古田睦美 教授 (環境ツーリズム学部)	高原 新汰朗、西山 湧斗 (環境ツーリズム学部3年) 伊藤果穂 (社会福祉学部3年) 春原 陽茉梨 (環境ツーリズム学部3年) 藤岡 美希 (環境ツーリズム学部2年) 平山 小那美 (環境ツーリズム学部3年) 橋内 愛未 (社会福祉学部3年)	塩田まちづくり協議会と協働し、2020年に認定された日本遺産を次世代に継承・普及することを目的に活動に取り組みます。 2022年作成した「塩田平かるた」を活用したイベント・ゲームなどを通して、地域の子どもたちに向けてイベントを開催しました。 また、夏至の日や冬至の日、生島足島神社祇園祭でイベントで、パネル展示などを行いました。
閉会			
11:50	上田市長からのご講評	上田市長 土屋陽一様より、ご講評	
11:57	全体のまとめ・次年度のお知らせ	庄村栄治 地域づくり総合センター長より、全体のまとめ・次年度のお知らせ。	
12:05	閉会。発表会終了		